

平成22年度
蒲郡市事務事業評価
結果報告書

= 会計室 =

平成22年度事務事業評価表	担当	会計室	内線等	1103
---------------	----	-----	-----	------

事務事業名	480	出納事務事業		
-------	-----	--------	--	--

根拠法令等	地方自治法、蒲都市予算決算会計規則	事業開始年度 事業期間		
-------	-------------------	----------------	--	--

総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)

基本目標	-	施策名	-
------	---	-----	---

基本目標、施策に対する貢献度	-		
----------------	---	--	--

市長マニフェスト	-		
----------	---	--	--

市長マニフェストの執行状況	-		
---------------	---	--	--

事務事業の内容

目的 (何のために)	財政の健全化、明確化のために
対象(受益者) (誰・何を)	歳入調定および支出命令等の調書について
目標 (目指す成果)	公金の出納を適正に行う。
そのための 手段 (手法)	迅速かつ適確な審査及び手続きをする。

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
歳入書類枚数	25,275枚	25,190枚	25,000枚
歳出書類枚数	51,763枚	50,870枚	50,000枚
計	77,038枚	76,060枚	75,000枚

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
歳入書類枚数	目標	24,000枚	25,000枚	25,000枚	年度
	実績	25,275枚	25,190枚		
歳出書類枚数	目標	52,000枚	52,000枚	50,000枚	年度
	実績	51,763枚	50,870枚		
	目標				年度
	実績				

指標の説明

歳入書類枚数	1年間に審査した歳入書類枚数
歳出書類枚数	1年間に審査した歳出書類枚数

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	5.90人	次長 課長級	1.90人	補佐級	1.00人	係長級	3.00人	一般職		非常勤		再任用	
H22 人工計	5.30人	次長 課長級	1.30人	補佐級		係長級	3.00人	一般職	1.00人	非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	474	449	603
	人件費	51,680	41,069	
	合計	52,154	41,518	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	52,154	41,518	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	法令等により実施が義務づけられている内部管理事務事業である。

効率性

効率性	A 投入された予算、人工に十分見合った成果をあげている
理由	審査、収入および支払処理等、適正かつ効率的に行っている。

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
理由	円滑に事務処理されている。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	現行の媒体であるCGMTが製造中止となるため、口座振替の電子データ化を図る。

平成22年度事務事業評価表	担当	会計室	内線等	1103
---------------	----	-----	-----	------

事務事業名	481	資金運用事務事業		
-------	-----	----------	--	--

根拠法令等	地方自治法、蒲都市予算決算会計規則	事業開始年度 事業期間		
-------	-------------------	----------------	--	--

総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)

基本目標	-	施策名	-
------	---	-----	---

基本目標、施策に対する貢献度	-		
----------------	---	--	--

市長マニフェスト	-		
----------	---	--	--

市長マニフェストの執行状況	-		
---------------	---	--	--

事務事業の内容

目的 (何のために)	公金を安全かつ確実に運用、保管するために
対象(受益者) (誰・何を)	歳計現金(一般会計、特別会計、歳入歳出外現金)および基金会計について
目標 (目指す成果)	公金の安全と利息の確保を図る。
そのための 手段 (手法)	公金の効率的な運用を実施する。

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
歳計現金利子	3,046千円	1,639千円	348千円
基金会計利子	53,853千円	34,682千円	17,118千円
計	56,899千円	36,321千円	17,466千円

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
歳計現金利子	目標	4,866千円	1,230千円	348千円	年度
	実績	3,046千円	1,639千円		
基金会計利子	目標	46,233千円	35,918千円	17,118千円	年度
	実績	53,853千円	34,682千円		
	目標				年度
	実績				

指標の説明

歳計現金利子	一般会計、国民健康保険事業はじめ10特別会計および歳入歳出外現金を運用して得られた利子収入
基金会計利子	土地開発基金ほか、15会計の基金を1年間運用して得られた利子収入

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.10人	次長 課長級	0.10人	補佐級		係長級		一般職		非常勤		再任用	
H22 人工計	0.70人	次長 課長級	0.70人	補佐級		係長級		一般職		非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	8	59	80
	人件費	977	6,610	
	合計	985	6,669	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	985	6,669	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	法令等により実施が義務づけられている内部管理事務事業である。

効率性

効率性	A 投入された予算、人工に十分見合った成果をあげている
理由	歳計現金等、最も確実かつ有利な方法により安全で効率的な運用を図っている。

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
理由	円滑に処理されている。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	